

令和6年度 第2回放課後対策事業運営委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和7年2月20日（木）午前10時～午前11時15分

射水市役所本庁舎4階 401会議室

2 出席者

【委員】

東委員、中野委員、網委員、松木委員、京角委員、吉田委員、山本委員
星野委員、佐藤委員

【事務局】

生涯学習・スポーツ課 石黒係長、法土主査、上田主任、吉田コーディネーター
中コーディネーター、折橋コーディネーター

学校教育課 川渕係長、稲田主査

3 会議概要

(1) 開会

(2) 議事

【説明事項】

放課後児童クラブの実績報告

放課後子ども教室・土曜学習推進事業の事業報告

小学生学び応援塾の事業報告

コミュニティ・スクールについて

(3) 放課後対策事業に関する意見交換

(4) 閉会

4 放課後対策事業に関する意見交換

【委員】

・放課後児童クラブでは、学校とは異なる生活の場として、子どもたちが次の学年にスムーズに進級できるよう準備したいと思っている。

・放課後児童クラブに登録している子どもで、放課後子ども教室のサークルに参加している子が多くいる。子どもたちはサークルをとて楽しみにしており、放課後児童クラブとしても、様々な体験ができるとても良い場だと思っている。そのため、新たに放課後児童クラブに登録される子の保護者には、サークルへの参加をおすすめしている。

【委員】

・小学校の授業終了時刻が早くなり、放課後の時間が長くなっている。放課後児童クラブで預かる子どもの人数も増えており、正直大変である。子どもたちには楽しく過ごしてほしいと思っているが、安全・安心のために限られた環境で管理する必要もある。

・放課後児童クラブでは、低学年の子が多く利用しているが、利用していない子もいるだ

ろう。放課後児童クラブだけではなく、子どもたちが安全に過ごすことができる居場所がもっとあればよいと思う。

【委員】

・現在、サークルで小学校3年生から6年生の子どもたちに算数を教えており、複数の学年の子を教えるのは、個々の関わりが難しく大変である。しかし、3年生でサークルに入ってくれた子が、6年生まで続けてくれるのは大変嬉しく、やりがいを感じる。これから楽しみながら子どもたちと関わっていききたい。

【委員】

・私は孫が4人いるが、遠くに住んでいることもあり、絵本の読み聞かせをしてあげることがない。孫にはできなかったが、今は多くの子どもたちに絵本の読み聞かせができ、本当に楽しく活動させてもらっている。

・サークル活動がきっかけで、小学校から学習発表会に招待していただいた。昔とは異なり、先生方があまり表に出ず、子どもたちが一生懸命発表している姿に感激した。学習発表会を見て、私もずっと同じやり方で読み聞かせを行うのではなく、やり方を工夫していきたいと思った。

【委員】

・コミュニティ・スクールでの活動は、子どもたちにとって新しい刺激があり、関わる地域の方にとっても、子どもたちから元気をもらえる良い取り組みだと思う。

・サークル活動のため小学校へ行くと、元気がなさそうだなと少し気になる子を見かける。また、近年は低学年の子でも不登校の子が増えていると聞き心配している。コミュニティ・スクールが、様々な子の支えになれる場になれば良いと思った。

小学校からの意見・要望・感想

【委員】

・本校は、桜の木が多く春はとても美しい景色が広がる。しかし、毎年落ち葉拾いが大変で困っていた。そこで、コミュニティ・スクールの取り組みとして、地域の方々に子どもたちと一緒に落ち葉拾いをしていただいた。参加された地域の方で、活動について新聞に投稿してくださった方もおられ、改めて実施できて良かったと感じた。今後も継続できればと思う。

【委員】

・放課後子ども教室や学び応援塾は子どもたちの心を満たし、子どもたちが自信をつける場にもなっていると感じる。学校としては、関わってくださる皆様が、準備から後片付けまできれいにしてくださるので、誇りをもって活動してくださっているのだと大変ありがたく思っている。

・放課後児童クラブとの連携は非常に大事だと思っている。最近も大雪等の影響により予定より早く下校することがあったが、情報がちぐはぐしないように、本校では長休みの時間に教員と学童の先生で情報共有を行うようにしている。

・不登校の子については、親子を一人にしない雰囲気づくりも大切だと思っている。学校だけでなく、地域の人や必要であれば外部につないでいく。柔軟に対応したい。

行政側からの意見・要望・感想

【委員】

・日頃から子どもたちに楽しみや活動の機会を提供してくださり、感謝を申し上げる。国では、「こどもまんなか社会」を掲げており、市としても頑張らなければならないと様々な事業に取り組んでいるところである。線引きが必要になることもあるだろうが、できるだけ市民ニーズに答えていきたいと思っている。そのためにも、皆様の協力がこれからも必要であり、皆様と連携しながら前へ進んでいきたい。

【委員】

・地域の中で子どもたちが成長しているのは、皆様の協力があつてこそであり、感謝を申し上げる。不登校の児童に関する話がでていたが、令和5年度、射水市で不登校となっている児童の人数は、小学生が88人、中学生が125人である。また、学校には登校しているが、教室になかなか入れない子もいる。市としては、保健室や図書室ではなく、子どもが安心して過ごすことができる場として、今年度、市内小学校4校と中学校1校に「校内教育支援センター」を立ち上げた。次年度は対象校を更に拡充予定である。個別案件で成果が見えづらい部分ではあるが、少しずつ学校に通えるようになった子もいると聞いている。

・コミュニティ・スクールについては道半ばであり、今後どうすれば地域も学校もやりやすくなるか皆様と意見交換をしていきたい。

(午前10時00分開始、11時15分終了)